

# 《 やまがた緑環境憲章の制定について 》

## ■【 制定の趣旨 】

- ① 県民一人ひとりが森林の価値を理解し、森林の保全をそれぞれの立場で考え、行動につなげる
- ② 新たな森づくりの基本理念と行動目標を、分かりやすく県民に伝えること

## ■【 これまでの経緯 】

やまがた緑県民会議において「やまがた緑環境憲章（原案）」を取りまとめ、パブリック・コメントを実施

- ・ 5月25日 第1回県民会議  
(憲章制定の基本的な考え方について協議)
- ・ 6月15日 第2回県民会議  
(憲章の基本構想について協議)
- ・ 9月3日 第3回県民会議  
(憲章原案について協議)
- ・ 10月～11月  
(やまがた緑環境憲章（原案）の  
パブリック・コメント)



平成19年度の森づくり活動状況

## やまがた緑環境憲章 — 県民みんなで支える新たな森づくり —

### 【前文】

森は、先人からの贈りものであると同時に、未来の世代からの預かりものです。

これまで、私たちは、森や自然の恵みに感謝し、「草木塔」にみられるような自然との共生の文化を生み、多くの命と共存してきました。

森は、私たちの暮らしを災害から守るとともに、豊かな水を育み、母なる川「最上川」の流れとなり、海につながります。また、森には、地球の温暖化を防止する大切な役割もあります。

将来、私たちの暮らしが変わっても、森との関わりを保ち、森の働きを守り続けることが大切です。

私たちは、今、森からの恩恵を受けるのみではなく、一人ひとりが森と共に生きていることや、木を活かす暮らしの大切さを改めて理解し、行動を起こす必要があります。

私たちは、やまがたの美しい豊かな森や自然を未来の子ども達に引き継ぐためにも、県民みんなで支える新たな森づくりを進めることを誓い、「やまがた緑環境憲章」を制定します。

### 【本文】

私たちは、

- 1 暮らしや環境を守るため、豊かな森づくりを進めます。
- 2 森や木の文化を見つめ直し、暮らしの中に木を活かします。
- 3 一人ひとりの力を活かし、森づくりの輪を広げます。
- 4 森や自然の大切さを学び、森との絆を深めます。
- 5 みんなで森づくりを支え、かけがえのない森を未来に贈ります。

平成20年1月10日

山形県  
やまがた緑県民会議

## ■【 具体的な取組み 】

### 【本文1】

- ◎多様な樹種や樹齢で構成する環境保全機能の高い森林へ誘導
- ◎放置されて病害虫等により荒廃している里山林の再生
- ◎森林の保全と利用を両立させた持続的な森林管理手法を確立

### 【本文2】

- ◎地域の木材を生活に活かす取組みを促進する「やまがた木づかい運動」を展開
- ◎環境保全に配慮した森林管理への転換、間伐材等の循環利用を推進

### 【本文3】

- ◎地域住民や市町村等、多様な主体による森や自然環境の保全活動などを広く支援
- ◎森や自然環境の保全活動のモデル的、先駆的な取組みを展開

### 【本文4】

- ◎子供たちが森や自然と触れ合い、森や自然との絆を深める環境づくりを推進
- ◎地域が育ててきた自然との共生の文化を活かした様々な文化伝承活動や都市との交流活動を支援

### 【本文5】

- ◎県民の役割  
保全活動への積極的な参加・協力、暮らしの中に木を活かすライフスタイルの実践
- ◎NPO・ボランティア等の役割  
森や自然環境を保全する県民活動への積極的な取組みや協力
- ◎森林所有者や林業関係者・団体等の役割  
協働の森づくりや公的な森林整備への積極的な協力

## 【 草木塔 】

草木塔は伐採した樹木を供養する塔で、全国で168基確認されているが、本県にはうち146基建立されている（最古のものは、江戸時代中期に米沢市で建立とされている）。

草木塔に刻まれた内容は、草や木の霊に対する鎮魂、樹木や緑化に尽力した事柄への顕彰、自然に対する畏敬や感謝等に分類される。



## 【 自然との共生の文化 】

人間が長い間自然との関わりの中で培ってきた「森や木の文化」などを意味する。

森林への期待はその時々々の要請に応じて変化するものであるが、森林は私たちの暮らしと切り離すことのできない県民共有の貴重な財産である。



## 【 母なる川「最上川」 】

最上川は日本三大急流と称され、吾妻山系を源に発し、米沢盆地、村山盆地、最上峡、庄内平野を流れ日本海に至る。

長さ229キロ、流域面積は7,040平方キロメートルで県土の76%にあたる。

県民の80%の約100万人が流域で生活している。



## 【 森の働き 】

森は、生命の源である清らかな水を育み、県土を災害から守り、私たちの暮らしを支えている。また、木材や山菜、キノコなど林産物を生産する働きや地球温暖化を防ぐ働きのほか、多様な生き物の生息の場、保健休養の場を提供している。

森のこれらの働きにより、私たちは潤いのある豊かな生活環境を得ている。

